

はじめに

当塾は平成9年(1997年)の開塾以来、地元公立高校進学に必要な学力の養成を主眼に、塾生・保護者の進路希望を実現すべく、通常指導・受験指導に努めてまいりました。おかげさまで、開塾28年目を迎えることができ、これもひとえに地域のみなさまのご支持の賜物と、深く感謝申し上げます。

当塾は塾長一人が全学年・全教科の指導を担当するという、他にスタッフのいない小さな塾ですが、生徒個々の学力を正確に把握し、やる気を引き出すという点では、他塾には絶対に負けないものがあると自負しております。

まずは、塾選びを失敗されないためにも、当塾の中学クラスを希望される生徒・保護者のみなさまには、以下の点をご理解・ご了承の上、入塾適否の判断をされることを切にご要望申し上げます。

三戸塾塾長 三戸庸行

中学クラス希望の生徒・保護者のみなさまへ

※令和7年度は中1クラスの募集を行わず、入塾希望者は全員個別指導にて対応いたします。

当塾の中学クラスを希望の生徒・保護者のみなさまには地元公立高校への進学を切望される方が多く、「できれば高陽高校へ」「最低、高陽東高校ぐらいは」という声をよく頂戴します。

しかしながら 現実には、そう簡単ではありません。何せ 入試制度も従来とは大きく変わり、一般入試を受験することなく合格ができた選抜Ⅱという推薦入試も廃止され、定期テストと違って暗記だけではどうにもならない入試問題をこなせる学力を身につけないことには、希望の高校に進学できないのが現実なわけです。

なお、現在、高陽東高校へ合格するには学力的に定期テストで5教科合計350点以上、高陽高校なら400点前後の成績が必要で、祇園北高校なら425点以上、安古市高校なら450点以上が必要となります。(前記の点数に満たなくても実際に合格された生徒の方は多々いらっしゃると思いますが、それだけの点数をとれる学力を中学のうちに身につけておかなければ、各高校へ入学後、授業についていくのは難しいはずです。)

そこで、どうしても地元の公立高校である高陽東～安古市高校合格を前提とした授業レベルで指導を進めていきますから、通塾経験がなくても定期テストで5教科合計300点以上をとれる生徒でなければ、授業についてくるのが難しい場合が生じます。

私自身、自力で5教科合計300点以上をとれる生徒なら確実に成績を伸ばせる(※現在、入塾時300点以上の生徒で高陽・高陽東不合格者は0人の記録を更新中!)と、自信を持って断言できるのですが、200点未満の成績ですと、個別補習等できる限りのサポートをしても、途中退塾される可能性が高くなり、ご期待に沿えない結果となるのが過去にございました。

以上の点から、とりわけ、『過去に1年間以上の通塾経験がある』または「テスト前には保護者がつきっきりで勉強をサポートした」にもかかわらず250点以上をとることができなかった』『集中力に欠け、宿題も平気で忘れる』『判読しにくい文字を書く』のいずれにも該当する生徒の場合、当塾の中学クラスは最適とは言えません。当該生徒のみなさんは、入塾後に粘り強く頑張れる覚悟が本当にあるのか、今一度、ご一考ください。

但し、成績が基準に達していなくても頑張りたいという意欲がある生徒なら、現状の成績にかかわらず入塾希望は極

力受け付けるようにしています。実際、この文面を見たにもかかわらず、敢えて定期テスト200点程度の成績で入塾する生徒が毎年おりますが、1年間続けて通塾してくれた生徒は全員、テスト結果が320～330点台まで上がっております。

私自身、納得の上で入塾してくれた生徒のみなさんには、「三戸塾を選んで良かった」と言ってもらえるよう、全力でサポートしております。勉強を頑張ってみようという生徒のみなさん、是非とも三戸塾で頑張ってみませんか！

みなさんの参加をお待ちしています。

クラス定員について

中2・中3クラスのいずれも各学年1クラスのみで、定員は従来よりも定員数減で最大10名に変更することになりました。これはコロナ禍以降、従来よりも学力不足の生徒が増加してきていると実感しており、より一層きめ細やかな指導が必要と判断したためです。

なお、一人一人の学力を正確に把握するため、解答を一方向的に読み上げることはせず、授業時間内に全員のテキスト問題の正誤をその都度チェックしながら進めていくという、「一斉指導と個別指導の複合型ともいえる、当塾独特の指導形態」は今後も継続していきます。

※令和7年度は中1クラスの募集は行わず、入塾希望者は全員個別指導にて対応いたします。(中2進級時にクラスへのコース変更か個別指導の継続を選択していただく予定です)

全教科一人指導について

教科担任制ではなく、塾長一人が全教科指導していると聞かれて驚かれる方もいらっしゃると思いますが、平成9年の開塾以来、指導内容についての苦情は一件もございません。憚りながら、授業に活かせる一般教養や雑学については格段の自信を持っておりますし、生徒が「解き方がわからない」からと持参した手持ちの入試問題等にも、その場ですぐに答えるようにしています。月謝をいただいている以上、どの教科であろうと質問にはその場ですぐに答えることが当然の責務であり、それができないようなら塾教師としては失格だと考えております。

体験入塾のおすすめ

入塾を検討中の方は体験入塾として、まずはクラス授業に参加してみてください。事前に体験入塾希望のご連絡をいただきましたら、学習予定範囲について教材のコピーを当日お渡しします。持参していただくものは筆記用具だけOKです。

ただし、以下の点にご留意ください。

1. 授業は通常通りのペースで行います。
2. 体験入塾後、当塾側から入塾を促すような連絡は行いません。保護者の方から「どういったところが苦手か」「塾の授業についていけそうか」等のご質問をいただきましたら、気づいた点・改善点等を含め、そのご質問にお答えするようにしています。
3. ご検討の結果として入塾したい旨、ご連絡いただきましたら、保護者の方にご来塾いただき、入塾手順・今後の取り組み方針等をご説明させていただくこととなります。